

ISEP インターンを終えて

ISEP インターンを始めたきっかけ

インターンを始めたのは去年(2015年)の12月で学部3年生です。その頃はエネルギーに関心を持ち始めたばかりで、知識はほぼ皆無でした。大学ではエネルギー関連、特に自然エネルギーに関する講義があまり無く、また同じ専攻の学生でもその分野について学ぶ人が周りにいなかったのも自力で勉強することが困難に感じていました。そんな中でゼミの教授から I S E P が刊行している「自然エネルギー白書」を頂き、非常に興味が湧いて気づけばホームページでインターン募集ページを開いていました(笑)。



主な業務内容とそこから得たこと

一年間の業務を振り返ると、自然エネルギーと一言で言っても多様なテーマで関わらせていただきました。私の場合、業務内容の内訳としては、①研究補助・調査等 15%、②イベント補助 20%、③書類整理・事務・イベント準備 50%、あとはその他 15%と多くは裏方の仕事で、インターンを始めたばかりの頃はこの業務がどう活かされてゆくのだろうかという疑問を抱えていました。しかし I S E P のイベントに参加すると、その積み重ねが実は重要だということを実感できます。特にそれを感じたのが、今年 11 月に開催された世界ご当地エネルギー会議です。I S E P の強みである“ネットワーク”が存分に発揮されたこの会議では、今まで経験してきた小さなイベントやプロジェクトでお会いした方々をはじめ、そこから繋がる多くの人で賑わっていました。皆が自然エネルギーに関心を持ち福島に集ったということ、この会議を開催できたことは I S E P が今まで積み上げてきたものがあってこそなんだと感じました。

また I S E P の行う“実践”から多くのことを学びました。自然エネルギー普及の為、どこにアプローチするのか、どう事業化できるかなど戦略的かつ確実に進めるという方法に N P O や N G O に対する印象を覆されたように思います。特に国会エネルギー調査会(勉強会)と富岡復興ソーラー事業を通して強く感じました。エネルギー政策自体を軽視していた訳ではありませんが、自然エネルギーに関しては技術面よりむしろ国・政治的な枠組みが重要だと思いました。また福島県富岡の事業では緻密に練られた事業スキームと計画段階から実行までのスピード感到に驚きました。そして一番はそこに尽力する大人たちの姿を見て感化されたと同時に自分自身はどうエネルギーに関わりたいのかという将来選択にも影響を受けました。

桜美林大学リベラルアーツ学群

4年 杉崎 朱音

インターン期間 2015.12-2016.12

最後に、I S E Pに来て良かったと感じることは、国内外の様々な分野・個性を持つインターン生に出会えたことです。エネルギー関連のイベントや講演の参加者の多くが年齢層高めで、同じ年代で関心を持つ人と会うのはなかなか難しいと感じていました。しかしI S E Pに来て同じ関心を持ち、しかもそれぞれ様々な切り口からエネルギーを考える学生たちの存在は心強かったし、その多様性から得られる価値は大きなものでした。海外に飛んだ先輩方やコミュニケーション力や積極性があり個性的な同期、しっかりしていて面白い後輩などなど…知見やアイデアだけでなくその人の生き方・考え方までとても刺激になりました

インターンを考えている人へ

研究で参加することは勿論、就職活動の前段階としてインターンを考えている人にもメリットは多くあると思います。まずNPOで関わる学生なんてとてもレアだし、I S E Pだから学べることの量・質は学校では得られないことが多いと感じていますので自分にしかない引き出しを持つことは十分強みになります。加えて、基礎的なPC操作や事務知識(郵送関連・御礼状・電話対応等々)、コミュニケーション力も付きます(インターン始める前より格段にタイピングが上達しました(笑))。これらは確実に就職後に求められる力だと思います。ぜひ事務所に様子を見に来てください。またインターンを始めたら、コンスタントに事務所に行って、色んな機会にも積極的に参加してみてください。みなさん学生に対してとても親切で色々勉強にもなります。